

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 質問票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名	担当課		
全体会		いこま育児ネット 石川 千明	健康課		
小分野No.	小分野名	進行管理検証シートの項目	小分野No.	小分野名	
1-1-1	出産に対する経済的支援	<input type="checkbox"/> 取組状況(R3年度) <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/> 課題 <input checked="" type="checkbox"/> R4年度の取組予定 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況	1-1-1	出産に対する経済的支援	
質問の趣旨			回答内容		
②-1の乳幼児健診受診率について低下の理由と改善への取り組み			令和3年度は、新型コロナウイルスのデルタ株が感染を広げたり、年明けにはオミクロン株が拡大した影響を受け、乳幼児健診が行われる医療機関への受診時期を遅らせる方がいらっやと推察します。また、3歳6か月児健診については、「所属する幼稚園（あるいは保育園・こども園）で健診を受けているので必要ない」ことを理由に受診されない方もいらっやするため、受診率が低いと考えられます。 ご報告しました受診率は令和4年4月現在の暫定値であるため、医療機関からの受診結果報告が未達の人や受診可能期間中である人も含まれているため受診率が低下していると推察されます。 受診率向上のため、定期的な受診勧奨通知を続けることはもちろんのこと、健診未受診者への個別の受診勧奨や感染対策を講じた集団健診の実施を続けていきたいと考えています。 また、3歳6か月児健診受診率向上のため、健診の必要性を広く周知できる方法を検討していきます。		
質問内容					
②-1の乳幼児健診受診率について、87.1%は低すぎると思います。毎年100%を目指すよう、取りこぼしがないようお願いをしていますが、昨年度の大幅に下がってしまった理由と、今年度実施率改善をするための取り組み予定について教えてください					

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 質問票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名	担当課		
全体会		いこま育児ネット 石川 千明	防災安全課		
小分野No.	小分野名	進行管理検証シートの項目	小分野No.	小分野名	
1-5-1	災害・犯罪等に対する安全性の向上	<input type="checkbox"/> 取組状況(R3年度) <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/> 課題 <input checked="" type="checkbox"/> R4年度の取組予定 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況	1-5-1	災害・犯罪等に対する安全性の向上	
質問の趣旨			回答内容		
奈良県防災士会生駒ブロックの活動について			奈良県防災士会生駒市ブロックは、公益活動団体として市民活動推進センター「ららポート」に登録されているボランティア団体であり、主な活動内容は、市民への一般的な防災知識の普及や防災意識の啓発です。		
質問内容			団体の構成員は少数であり、ボランティア団体として活動されていることから、活動支援や他団体との連携促進などは、担当部署である市民活動推進センターが行っています。今後の活動等の相談についても、市民活動推進センターで可能な限り対応していきます。		
奈良県防災士会生駒ブロックが2023年3月をもって活動を終わると聞きました。(2022年1月の情報)防災士会の事務局を引き継がないことが原因と聞いています。災害時において防災士の役割はとても重要で、今後も生駒市に存続しなければならないと感じています。この点について生駒市として何かフォローできないでしょうか。危機感を持って対応していただきたいと思います。※1月の情報ですので、その後活動継続がされる場合も、今後、活動休止等の話が持ち上がり、生駒市としてフォローをお願いしたい。			なお、防災士との連携に関しては、防災安全課として、市内の防災士を対象とした「生駒市防災リーダー登録制度」を令和元年度から始めています。この制度で防災リーダーとなった方に対しては、研修会への参加や総合防災訓練への参画等により、市及び地域との連携を図っているところであり、今後も継続して取組を進めていきます。		

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 質問票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名		担当課																																										
全体会		帝塚山大学・学長・蓮花一己		教育総務課																																										
小分野No.	小分野名	進行管理検証シートの項目		小分野No.	小分野名																																									
1-5-1	災害・犯罪等に対する安全性の向上（Ⅱ） ④通学路等安全対策	<input checked="" type="checkbox"/> 取組状況(R3年度) <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> 課題 <input type="checkbox"/> R4年度の取組予定 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況		1-5-1	災害・犯罪等に対する安全性の向上（Ⅱ） ④通学路等安全対策																																									
質問の趣旨				回答内容																																										
千葉県八街市の事故をうけて、全国で通学路の再点検が実施された。生駒市での取組結果を知りたいので紹介して欲しい。				平成24年度から令和2年度分までの対策実施状況につきましては、下記の件数一覧表をご確認ください。ただし、最新の状況では、未実施箇所が完了している場合もあります。令和3年度につきましては、別添の箇所が要対策箇所としてあがっております。本年度につきましても、7月から8月頃に通学路合同点検を行い、対策箇所について、対応策を検討する予定となっております。対応策例としては、グリーンベルトや路側帯、ストップマークの設置、交差点へのガードパイプの設置などがあります。																																										
質問内容				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対策必要箇所</th> <th>改良済</th> <th>未実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>86</td> <td>86</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>54</td> <td>50</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>49</td> <td>38</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>46</td> <td>42</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				対策必要箇所	改良済	未実施	平成24年度	86	86	0	平成25年度	17	16	1	平成26年度	10	9	1	平成27年度	16	16	0	平成28年度	32	29	3	平成29年度	34	32	2	平成30年度	54	50	4	令和元年度	49	38	11	令和2年度	46	42	4
	対策必要箇所	改良済	未実施																																											
平成24年度	86	86	0																																											
平成25年度	17	16	1																																											
平成26年度	10	9	1																																											
平成27年度	16	16	0																																											
平成28年度	32	29	3																																											
平成29年度	34	32	2																																											
平成30年度	54	50	4																																											
令和元年度	49	38	11																																											
令和2年度	46	42	4																																											
<ul style="list-style-type: none"> ・R2までの対策地点の件数（改良済・未実施） ・R3の要対策地点（今後の実施計画） 																																														

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 質問票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理検証シート 回答票

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議		所属母体・役職等・氏名	担当課		
全体会		生駒商工会議所 専務理事 大原 暁	拠点形成課・都市計画課・商工観光課		
小分野No.	小分野名	進行管理検証シートの項目	小分野No.	小分野名	
2-1-1 2-2-1 3-1-1 3-2-1		<input type="checkbox"/> 取組状況(R3年度) <input type="checkbox"/> 成果 <input checked="" type="checkbox"/> 課題 <input checked="" type="checkbox"/> R4年度の取組予定 <input type="checkbox"/> 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況	2-1-1 2-2-1 3-1-1 3-2-1		
質問の趣旨			回答内容		
学研生駒テクノエリア及び学研都市エリアとしての企業等に対する市（行政）としての取組及び支援策について検討いただきたい。 ①「市民が誇れる工業団地に向けての取組」 ②伝統産業・地域産業（竹・茶の文化、茶釜作り）に対する取組 ③音楽の街・市民オーケストラ等文化で集客交流できる街づくりを目指して！			生駒市都市計画マスタープランにおいて、関西文化学術研究都市における高山地区及び北田原地区を産業・学術研究拠点として位置づけています。当該地域は、産業振興と雇用の創出につながる産業機能や高度な学術・研究・業務機能の集積に加え、持続的な技術革新を牽引する居住実験都市の実現、イノベーション中枢機能の構築など、次世代を見据えた拠点形成を図ります。具体的には、国道163号線バイパスの整備に合わせた都市計画の変更等による産業施設誘致エリアの拡大や、企業の立地ニーズの把握と該当する用地とのマッチングの推進、民間事業者との協創等を推進していきます。伝統産業・地域産業（竹・茶の文化、茶釜作り）に対する取組として、伝統的工芸品及び特産品の産地組合による自主事業への補助を継続実施することで、伝統工芸品の育成に関する事業や特産品の振興に関する事業の実施を促し、地域産業の活性化を図ります。国指定の伝統的工芸品である高山茶釜は、同工芸品の産地である高山町特産品の茶道具や竹編針等の竹製品とともに、観光客周遊滞在促進事業の中で、地域事業者と連携し、お茶に係るテーマ型観光推進や着地型観光コンテンツとしての開発や磨き上げ、情報発信に努め、誘客強化に取り組めます。ご意見いただいた内容については、各事業の進行と併せて検討いたします。		
質問内容					